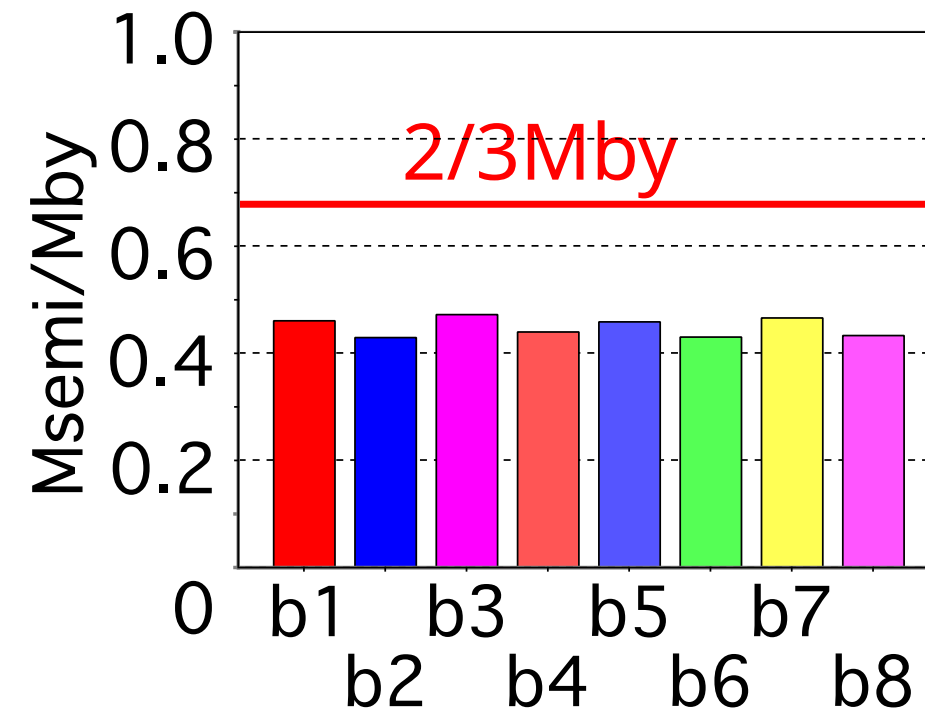
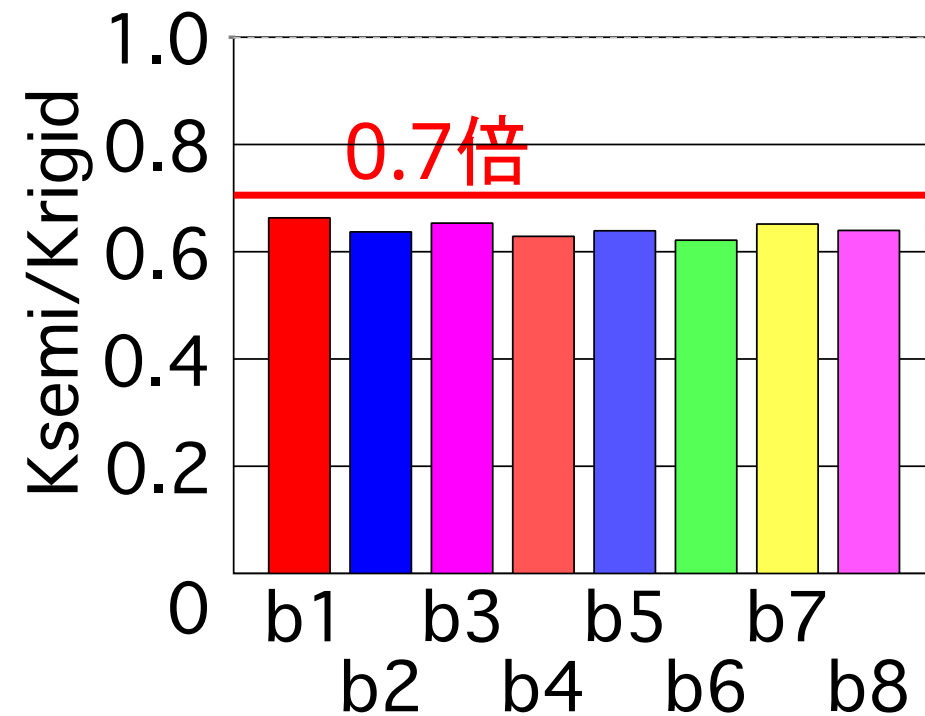


今までの検討

○H-300x300x10x15の柱と、JIS細幅の梁b1～b8の十字形骨組解析結果



半剛接合部の骨組剛性Ksemi

剛接合部の骨組剛性Krigid

層間変形角 $R=1/200$ 時

梁端部の存在応力Msemi

梁の降伏モーメントMby

半剛と剛の接合部を有する十字形骨組を比較した結果、
半剛の骨組の剛性は剛接合部の0.7倍、
層間変形1/200の時に梁端部に生じるモーメントは2/3であったので、
許容応力度設計が絶対にできない、ということはないことがわかった。